

令和7年度第3回岩出市上水道事業運営審議会

会議録

1. 日 時 令和8年2月13日（金）午後1時30分から午後2時45分
2. 場 所 岩出市役所 2階 第4会議室
3. 出席者 委員（五十音順）
大地委員、奥田委員、尾和委員、杉本委員、関下委員、田村委員、
西野委員、福田委員、吉田委員
事務局
最相上下水道局局长、吉末上下水道局次長、田村上水道工務課課長、
柴崎上水道工務課課長補佐、大森上水道工務課係長、
中西上下水道業務課課長、増渕上下水道業務課副課長
4. 議 題
岩出市水道ビジョン（案）について
5. 会議型式 公開
6. 傍聴者 なし
7. 会議内容
[開会]
(事務局より宣言)

[会議]
(会長により進行、定足数について事務局から報告)

(岩出市水道ビジョン（案）について事務局から報告)
一岩出市水道事業ビジョン策定の趣旨
一岩出市と水道事業の概要
一岩出市水道事業の現状および将来の事業環境
一基本理念と施策体系

一具体的施策

一事業スケジュールとフォローアップ

(質疑)

(委員) 具体的施策の中で、57ページの施策スケジュールの中で、アセットマネジメントを行うとありますが、これは今あるのか、今後作ってゆくのかということと、下のシン・アセットマネジメントの作成とどういう関係があるのか。またシン・アセットマネジメントについて、説明して頂きたいと思います。

それから、中島の直送解消という項目があるのですが、説明がなかったように思いますので、教えて頂きたいと思います。

(事務局) もともとアセットマネジメントというものはあります。今回のこの水道ビジョンを作成し、そのビジョンに基づきまして、令和8年度にシン・アセットマネジメントを作成します。また具体的に、水道管が何キロどこにあるかとか、どれだけの費用がかかるのかとか、詳細な設計上の数字を出して、費用を算定し、進めてゆくということで、令和17年度までラインを引いています。

中島の直送の部分ですが、配水区域図において黄色で示しているところが、その区域になっています。24時間ずっと送水を行っており、電気を削減するためにも、将来に青色の紀泉台水系の自然流下にしようという計画にはなっています。将来的にはやりたいのですが、順を追って順番にやってゆかなければいけませんので、令和17年までには計画的にちょっと無理があるのかなということで、載せていません。

(委員) 57ページの施策スケジュールのところの矢印では、中島の直送解消は、令和8、9年と書いてあるのですが、これは何をするのですか。

(事務局) 一度に完全に切り替えるのは難しいですが、令和10年ごろから少しずつ取り組んでゆこうということです。やらなければならないことが沢山あるので、最後になるのかなと考えています。

(委員) 施策スケジュールについて、上のアセットマネジメントと下のシン・アセットマネジメントは、同じものですか。下は新しいいもので、上は古いものですか。

(事務局) 下が新しいものです。概ねに計画をしていたので、精査をしつつ「シン」で補完するというものです。

(委員) やり替えというか、統合してゆこうということですね。了解しました。

(委員) 30ページのホームページからの出典の図が、見にくいと思います。

(事務局) 30ページの図3の12の排水・自動水質測定場所の位置図につきましては、見にくいので修正します。またビジョン内の図で、凡例がない部分もあります。そこも、凡例を入れるように修正します。

(会長) 24ページの経営の状況の中で、経常収支比率として、100%を超えています。令和3年が126%で、だんだん下がってきているのは、何か考えられる原因はあるのですか。コロナが何か関係あるのですか。

(事務局) コロナの発生で、基本料金の減免を行っており、収入が減ったということになります。

(委員) コロナの減免ということですが、水を作る原価が上がったから、収入も減ったことも、かなり大きく関係があるのですか。26ページの給水原価の推移として、ちょうど令和3年から、令和4年にかけて、原価がすごく上がっていますので。

(事務局) 物価高騰により、原価が上がり、事業費が増え、経常収支比率も下がっています。

(委員) 56ページの配水区域イメージですが、今は紀泉台の方に偏っており、将来はバランス良く取ってゆくのですが、もっとバランス良く取ろうとすると、改修工事や配管、接続の見直しなど、かなり厳しいものがあるのですか。

(事務局) 将来図を見て頂きますと、半分ぐらいの色比率になっているのですが、岩出市には、6000トンの大きな配水池が、紀泉台配水池と桜台配水池の2か所にあります。この配水池を2分の1ずつにすれば一番バランスが良いので、だいたい県道泉佐野岩出線に分けているということです。配管は全部つながっており、バルブを閉めたら切り替わるということで、管を布設したりする費用は、あまりかからないと思っています。

(委員) 31ページのPFOSの表の中で、令和4年度と令和5年度の黄色で着色しているところは、値が高いことを示していると思うのですが、これはそのまま良いものなのですか。

(事務局) 令和4年8月8日の23ナノグラム、令和5年8月22日の24ナノグラム、32ナノグラムで、一応20ナノグラムを超えたものを高いという認識で着色しています。

(委員) その説明は文面にないのですか。値が高いことを示しているだけですか。

(事務局) 説明文中の「一方で、場所によっては少し高めの数値が見られたこともありました」という内容を受けて、20ナノグラム強のところを着色しています。

(委員) 目標値が50ナノグラムなのですが、一般市民の方が、20ナノグラムより上、下という部分で、健康に害があるものかどうか判断つかないと思うので、その説明が必要じゃないかと思います。

(事務局) 国の指標ではなく、他よりもちょっと高いことを検出したことがあるというのを警告しているだけです。市民さんに誤解を招く可能性もあるので、着色は消すような方向で考えさせていただきます。

(委員) 令和6年はまた下がっていますので、今はもうそれ以上に安全ということですね。

(会長) 着色は消しておくということですね。わかりました。

(今後の流れについて事務局から説明)

(事務局)

ーパブリックコメントの実施について

- ・今回の委員会で意見等を反映したものでパブリックコメントを実施。
 - ・意見があれば、意見に対する回答と必要な修正。
 - ・意見の有無や修正の内容については、委員に書面で提出。
 - ・特段の必要がなければ会議は開催しない。
- ー答申の提出について
- ・答申については、会長が代表して市長に提出。
 - ・答申(案)については会長と事務局で案を作成。
 - ・答申の内容としては、「審議の結果、別冊岩出市水道事業ビジョンをもって答申とします」というようになる予定。
 - ・付帯する意見などについて、この場でまたは今月中に、事務局の方に頂きたい。
 - ・頂いた意見をもとに事務局で案を作成し、書面で提示。
 - ・最終の内容の修正については、会長に一任頂きたい。

(質疑)

(会長) 具体的にはどのようにするのですか。広報か何かをするのですか。

(事務局) 答申につきましても、皆さんの意見等を反映させなければなりませんので、それらの意見を載せていったような形になると思います。さらに意見の追加、今回の会議の追加があれば、事務局の方に意見を頂ければ、事務局でまとめさせてもらい、会長に確認して頂いて、市長に答申という形で出させて頂きます。

(会長) 最後に事務局から何か言っておくべきことがあれば、お願いします。

(事務局) 1年間にわたりまして、水道事業ビジョンの作成にご協力頂きまして、まことにありがとうございました。最後まで頑張ってゆきたいと思いますので、またご協力を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

[閉会]

(会長より宣言)